



2月24日(日) 相模湖近くの石老山に出かけました。今年に入ってからが予定が全て雨で中止となり、12月2日(日)の「沼津アルプス」以来、久しぶりのハイキングとなりました。石老山は、橋本駅からバスで相模湖に向かう途中にあります。今回の参加者の誰もが、そのあたりに石老山なる山があり、ハイキングコースもあることは、なんとなく知っているものの、登ったことはない。まあ、それもそのはず、たいていの方は、車で横を通っていることと思いますから、わざわざ、バスで行こうとは思わないでしょう。まして、近場の相模湖周辺に魅力を感じないのでなおさら。でも、ハイカーには人気のある山のようにです。冬から春に向かう季節の足慣らしの山にはちょうどよさそう、ということで、地元の石老山。

この日は、朝から曇り空で、それまで、異常に暖かかった気温も平年並みといった寒い日でした。しかし、大きな岩や石の間を通り、山頂に近づくにつれ天候は良くなり、暖かくなり、気分は“もうすぐ春”。杉花粉も活発で困りものでしたが…。大明神展望台から眺めた相模湖は、意外にも美しく驚かされました。近場にもおもしろいところがあるものですね。



登ってみたかった「石老山」

2月24日(日)朝7時、JR橋本駅改札付近に集合したのは、小野勝彦さん、加籾夫妻、横山和明さん、石井アヤ子さん、町田行弘の6名でした。みなさん、石老山の存在は知っているものの、登ったことがない、機会があれば登ってみたいと思っていたようです。その機会が今日です。

改札を出て右へ、左にあらわれた階段を下り、まっすぐ行くと公衆トイレがあり、ここで済ますものを済ませます。道路の反対側に「三ヶ木」行きのバス停があります。ちょうどバスが出てしまったところでしたが、次のバスが待機していました。乗り込んで出発を待っていると「どこまで行きますか?」「三ヶ木まで」「だったら、次のバスに乗った方がいいよ。これは、遠回りするし、運賃も高くなるから」親切な運転手のアドバイスに従って、次のバスを待つことにします。

バスは、津久井湖の横を通り、相模湖方面に向かいます。約30分程で終点の「三ヶ木」。このバスターミナルで今度は「相模湖駅」行きのバスに乗り換えです。10時10分のバスで約10分、国道412号線で「石老山入り口」バス停へ。

神秘的な山道

バスを降りると、大きな「石老山案内図」がありました。しばらく舗装路を歩き、15分程、右手に案内図にあった青い建物、相模湖病院が現れます。舗装路から分かれ、ここから未舗装の山道に入って行きます。病院の駐車場と病院の間を通り抜けて進みます。



うっそうとした杉林なのですが、ここから顕鏡寺まではその参道となっているためか、整備されています。といっても山との調和をくずすことなく、この山の石をうまく利用して歩きやすくなっているのです。そして、屏風岩など名前の付けられた大きな石や岩が次々と現れ、それぞれ、そのいわれが書かれています。石老山という名前にふさわしい?神秘的(?)な風景がお寺まで続きます。

急な石段を上ると車の通れる林道が横切ります。そして目の前が顕鏡寺。石老山というのは、このお寺の号で古い石の山にあることから、そして、顕鏡寺という名は、僧が若き頃、修行のため諸国行脚に出かけた際、父母が再会の証として鏡を割って一片を持たせたことに由来するそうです。ここでしばし休憩。水の補給とトイレはこの先ありません。

八方岩からの眺めは二方だけ

お寺の門の手前から大きな岩が屋根となっている岩窟の前を通り、再び山頂を目指して歩き始めます。今までと同じように大きな岩があちこちにあり、そのうちいくつかの岩には名前が付けられていました。顕鏡寺までの参道と違うのは、空気が乾いているところ。それまでのように苔生すという雰囲気はなくなりました





が、気温も上昇してどうやら杉花粉を感じます。もっとも花粉症にかかっているのは石井さんと町田だけです。天狗岩、試岩を過ぎると奥の院です。大きな岩が社を包むようにそびえています。奥の院から5分ほどで「八方岩」南側に少し突き出している岩の上に立つと四方八方が展望できるというのですが、実際に展望できるのは南東方向だけ...？バスで通って来た津久井湖がはっきり確認できます。その先が相模原でさらには横浜。“うむ、関東平野だなあ”という眺めです。



新鮮な相模湖！

八方岩から杉林の中を上ること10分、融合展望台に到着します。テーブルとベンチがあり、目の前にはなんと美しい相模湖。“相模湖ってこういう色、こういう形なんだ！”相模湖の上には中央道、さらには、高尾・陣馬の山、奥多摩・秩父の山が連なります。近くの山は、杉などの樹木の植林された様子がその模様となっていて面白い。時刻は11時40分、ここで昼食とも思ったのですが、北側の斜面で、陽当たりが悪く、ジメジメした感じでした。山頂までは約1時間なので、やはり、昼食は山頂で摂ることにしました。



恐怖の山頂前の下り

山頂までは、比較的ゆるやかな広い、陽当たりの良い尾根道を歩きます。さすがにこのあたりまで登ると大きな石や岩はなく、大きな景色の変化などありませんが、なんだかマイペースで心地よく歩けます。ちょっと小野さんが遅れがちかな...？どうやら自分たちの向かっている山はあれらしい、と確認できると大抵の場合、そこから少し下って、目指す山に向かって一気に登ることが多いのですが、今回まさに“それ”。下りが始まりました。体は楽になるような気がするのですが、下った以上に上らなければならないことがわかっているだけに、どこまで下るのか不安です。前回の「沼津アルプス」の時には上った分そのままお返しのように下りましたから、その思い出が小野さん、加藤さん、横山さんにはありますのでなおさら。でも、ほどなく下りは終わり、上りが始まり、最後はちょっときつい階段の上り。上り終われば山頂です。ここでも、小野さんがいつもよりかなり遅い...。“そういえば、2月に昇仙峡に行ったときも、歩くペースはとてもゆっくりだった。最近、調子が悪いのかな？”

小野流自己管理術

石老山の山頂は、少しばかりの広場になっていて、テーブルや椅子が設置されています。目の前には、丹沢方面の山々が連なります。時刻は12時20分、山頂は昼食を摂るハイカーで程良い賑わい。私たちもここで弁当を広げます。お湯を沸かしてカップラーメンというのが最近の人気。手軽でおいしく、暖まる、お湯を沸かすことで自分で作ったような満足感もあるし。いつも、自分のガスでお湯を沸かしている小野さん、今日はやっていない。しかも、食べている様子もない。「小野さん、お弁当は？」「いや、もう食べた。少しでいいんだ」小野さんは、最近体重が増えてきたのでダイエット中ということ。食べる量を減らしているのです。パワーダウンを感じるそうですが、糖尿病（長年のつきあい）や高血圧などのほうがもっと怖いのです。徹底した自己管理です。健康診断の結果、標準値をはずれてしまっても、危機感が無くて生活パターンをなかなか変えられないものです。変えなくちゃ変わらない！ちなみに、町田家では、私の健康診断の結果を公開したところ、血液検査による肝機能に関わる数値が全て、常識をはずれて、いえ、標





準備を上回っていたため「禁酒令」が発令されてしまいました。もっとも、家で無駄な酒を飲むなということで、一滴も飲むなというものではありませんので、みなさんとは喜んで一緒にします。

石井博士の植物学講座

1時間ほど山頂で過ごし、記念撮影をして出発。目指すは「大明神展望」です。のどかな日差しの中をのんびり下って行きます。鳥のさえずりもなく、本当に静かです。これから、春、夏に向けて活動的になっていくのでしょうか。その一歩手前という感じです。しばらくすると、最後尾を歩いていた石井さんと横山さんがいません。待ってもなかなか来ない。道に迷ったのか？でも、迷えるような分かれ道などありませんでした。???ようやく姿を現した、石井さんの手にはビニール袋、中に何か入っています。野生の春蘭を採取したのです。「たくさんあるわよ」と石井さんが指さすところには同じ植物が。春蘭は丈夫で冬も屋外で枯れることなく、毎年春に花を咲かせ増えていくそうです。

春蘭を採取したり、その話題で歩いていると、「大明神展望台」に到着。そこには、鉄柵に囲まれたいわゆる展望台がありました。上ると「わぁっ」と声が出てしまいます。「融合見晴台」か



らの眺めをダイナミックなパノラマにしたようなスッキリした雄大な展望です。正面は相模湖、右方向は津久井湖、左方向は山梨の山々、後ろを振り返ると「石老山の頂」。しかし、どれが「石老山」だ？なんとも形に特徴のない山です。

「いくら拾った？」松ぼっくり

展望台を降りて、山を下ります。下り始めると周りは松の木。下には松ぼっくりがたくさん落ちています。加藤さんによれば、どこかのイベント会場で松ぼっくりがひとつ

100円で売られていたそうで、今度は松ぼっくり拾いが始まりました。いくつではなく「いくら拾った？」しばらく下りていくと次第に岩場が増えていきます。上り始めのような苔生す岩の間を抜けて下ります。



展望台から30分ほどで未舗装の林道に出ます。右側に小川が流れ、バンガローなどが現れます。キャンプ場のようです。キャンプ場を抜けると舗装路に出ます。ここから20分ほどで国道412号線、正面に相模湖ビクニックランドの入り口があります。その横のバス停から三ヶ木経由で橋本駅へ。近場のいいところ、まだまだたくさんありそうですね！





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
石井アヤ子	194-0004	東京都町田市鶴間 1391-2 042-799-3575

